



むなかた市議会だより

平成26年9月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報調査特別委員会
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591
●市ホームページ=http://www.city.munakata.lg.jp/shinai/gikai/gikai-index.php
●メール=gikai@city.munakata.fukuoka.jp

9月定例会(9月1日〜9月26日)のあらまし

市長提案の条例関係議案5件、平成25年度決算9件、平成26年度補正予算8件、その他3件を原案どおり承認・可決・認定しました。
議員提案の意見書4件、発議5件、その他議案2件を可決しました。
陳情は1件受け付けました。請願は1件を採択しました。

平成25年度決算を認定

一般会計決算額

歳入 349億9452万円
歳出 344億9378万円

税金の使い方をチェック

一般会計のほか、特別会計など合わせて9会計について、皆さんが納めた税金がどのように使われたのか、4日間にわたって2つの特別委員会でも審査し、すべての決算を認定しました。

賛成多数で 平成25年度一般会計決算を認定

賛成意見・要望

・来年度以降の財政状況はさらに厳しくなると思われるが、市長の手腕に期待したい。
・定住化推進事業は、医療費の無料化や学童保育などいろいろなソフト事業と家賃補助制度などと併せて推進してほしい。
・市職員は壁にぶつかり

全員賛成で可決

平成26年度一般会計補正予算

今回の補正予算は、予算総額から、歳入歳出それぞれ3665万7千円を減額するものです。
一般会計歳入では、交付金の確定に伴う地方特税の増額、交付内示額の減少に伴う国庫支出金の

減額と市債の増額などが主な内容です。
一般会計歳出では、障害児放課後等デイサービス事業にかかる施設整備や水痘および高齢者肺炎球菌ワクチンの接種に対する公費助成を10月から開始したことなどにより

増額する一方で、平成25年度決算に伴う国民健康保険特別会計など他会計への繰出金や、社会資本整備総合交付金の要望額の減額に伴い事業費自体を減額した東郷道の里線道路改良事業費などを減額しています。

反対意見

ながら一生懸命仕事をしている。決算審議は、そういう職員の頑張りをアピールする場にしてほしい。
・市のホームページは、危機感を持つて一刻も早く更新し、情報政策についての重要性を改めて認識してほしい。
・市職員は、多忙感の中で仕事をしているが、大変なときこそ、地に足を付けてやってもらいたい。
・費用対効果など事業の実施結果の検証が十分かどうか疑問を感じる。住民の皆さんの健康や安全を守っていくという地方自治の原則に立ち返り、事業を見直してほしい。
・市の事業について、どこまで先の見通しを持って行われているのか疑問に感じる。

賛成多数で可決

子ども・子育て支援新制度に関連する3議案を可決

平成27年4月に全国的に施行予定の子ども・子育て支援新制度は、幼児期の教育、保育の充実を目的とし、実施主体の市は運営のための条例を制定する必要があります。9月定例会では、新設される(※)特定地域型保育事業の設備、運営基準を定める条例案などが市長から提案されました。

主な質疑

Q 国が示した特定地域型保育事業の基準は、安全面での問題点も多い。まずは現行の保育所の充実を図るべきでは。

A 市としては、すぐにこの事業に移行する考えはなく、現行の保育所などを充実させていきながら、現在策定中である事業計画の中で実施の検討をする。

(※) 特定地域型保育事業Ⅱ家庭的保育、小規模保育、居宅訪問型保育、事業所内保育の4つの保育事業



「議員と語ろう!」議員座談会開催

今回は、「子育て・教育」「健康・福祉」「地域活性」の3つのテーマに分けられたテーブルを囲み、議員と市民のみなさんが語り合う座談会方式で実施いたします。

多数のご参加をお待ちしています。



日時・会場	会場	参加議員(◎班長)
11月8日(土) 午後2時〜	自由ヶ丘地区 コミセン	◎石松 和敏 小田 英俊 新留久味子 神谷 建一 北崎 正則 井上 正文 (吉田益美議長)
11月8日(土) 午後7時〜	日の里地区 コミセン	◎末吉 孝 花田 鷹人 杉下 啓恵 岡本 陽子 森田 卓也 吉田 剛 (吉田益美議長)
11月12日(水) 午後7時〜	池野地区 コミセン	◎小島 輝枝 植木 隆信 福田 昭彦 伊達 正信 安部 芳英 高原 由香 (吉田益美議長)

※申込は不要です。ご希望の会場に直接お越しください
※各会場、2時間程度を予定しています

請願

「農業・農協改革」に関する請願について

【賛成多数で採択】

(請願者)

宗像農業協同組合
代表理事組合長
川口正利さん

宗像農政協議会
委員長
中村善則さん

(要旨)

政府は、農協の事業や組織統治のあり方、新たな制度への移行などを提起している。今後、国で審議される予定の「農業・

農協改革」について、現場の意見を反映し、慎重な検討が行われるよう、意見書の提出を求める。
(審査内容)

農協の役割は、事業の利便性だけでなく、地域密着の活動を重視し、辺地や山間地などでの事業も継続している。組織を部分的にでも変更すると、農協自体の機能低下、ひいては農家の生活にも支障をきたす可能性があることなどが明らかになり、賛成多数で採択しました。同日、意見書案も可決され、国に提出しました。

総合スポーツセンター整備事業調査特別委員会を設置

現在検討が進められている宗像市総合スポーツセンター(仮称)機関として調査研究を行います。



【左手前から】杉下啓恵委員、石松和敏委員、花田鷹人委員(副委員長)末吉孝委員(委員長)、小島輝枝委員、北崎正則委員、吉田益美委員

※1 ジオラマリ立体模型
※2 パブリックコメントII 公的な機関が計画などを制定する際に、広く公に意見を求める手続き
※3 インフラ整備II 生活や産業の基盤となる公益施設を整え、充実させること
※4 シティプロモーションII 市内外の人たちとの共感を作りだすための情報発信

一般質問

企業誘致推進策などの提案

とびうおクラブ／安部 芳英

問 ①国際交流を生かした誘致策 ②社宅家賃補助制度 ③海の道むなかた館の体験メニューの充実を提案する。

答 ①今年度策定予定のグローバル人材育成推進プランの中で体制を構築し、もつける交流の視点を持って事業を推進する
②UR団地の一部借り上



げなども含めて議論する
③提案されたメニューを参考に検討する。

問 誘致活動を産業振興部から都市戦略室に移管した方がスムーズでは。

答 民間連携と研究機会の提供として、パソコンメーカーと連携した学生による地域課題解決コンテストを提案する。

問 公共性、公平性を担保した上で、連携を模索する。

答 耐震改修補助金対象建築物の拡充としては、対象を拡充する方向で検討する。

子どもがすこやかに育つ支援とは

公明党／岡本 陽子

問 妊娠から産後まで子育て支援の内容は。

答 生活習慣の改善や、妊娠中のトラブルの軽減を目的に、母子健康手帳交付時の妊娠期からの予防講座を行っている。現在のところ、産後ケア事業の利用者はいないが、県が推進している妊娠期からのケアサポート事業により、妊娠から産後までの医療機関、行政との連携が円滑になり産後ケアを目的とした訪問や来所相談などにつながっている。

問 産後ケアを中心とした母子健康センターを設ける考えは。

答 子育て環境の変化に伴い、子育て世代を支援する母子保健センター設置の必要性は考えられる。しかし、施設を建設するためには財源の確保などさまざまな課題もある。センターの必要性、産後ケアは非常に大事であるため、今後は提案も含めて研究していく。

問 12年目を迎える地島小学校の漁村留学。市の評価は。

答 留學生の追跡調査の結果、水産高校への進学、海洋関係の会社への就職などの事例や大きく子どもが変わったなどの報告もあり、非常に効果があると認識している。

問 27年度に留學生の宿泊寮設備が新設されるが、受け入れ体制の拡大などを検討できないか。

答 指導員の確保が難しいため、福岡教育大の学生ボランティアなどへの働きかけを行っていく。留学制度は、地域の活性化につながるだけでなく、里親制度や空き家の活用を取り入れることで、産業、漁業の振興を進めることができると考えるが検討できないか。

答 里親制度について、当初議論したが、地元では受け入れが難しいという結論になった。空き家の活用は提案したい。

漁村留学から地域活性化を願う

宗像志政クラブ／神谷 建一

強みをいかした宗像の創生

無所属／高原 由香

問 本市の※4シティプロモーションの特徴と目指す将来像は。

答 子育て世代の増加につながるように、子育て支援の特徴や教育環境を自然環境や利便性のよさとあわせて情報発信し、子育て世代に選ばれる都市イメージの確立を目指す。

問 学校運営に保護者や地域住民の意見を反映させることを目的とした学校運営評議委員会の現状と課題は。

答 中学校区ごとに、年3回程度開催。小中一貫教育など学校運営の状況が地域や家庭に十分届いていないことが課題。

問 学校・地域・家庭・企業の連携で障がいのある子が就労体験するふれジョブについての見解は。

答 調査研究を進める。障害者差別解消法についての見解は。

答 市民や関係機関に広報などで啓発していく。

変わりゆく教育環境について

宗像志政クラブ／伊達 正信

問 将来の幼児教育義務教育化を視野に市長部局にある子ども部を教育委員会の管轄にできないか。

答 幼児教育を所管する子ども部の職員は教育委員会の併任辞令を受けて事業を行っている。幼児教育から小学校教育への連続性は確保できており、今のところ組織的な弊害はないと考える。

問 赤間宿にあった黒田藩の「お茶屋」の間取りの資料を元に※1ジオラマを制作し、街道の駅「赤馬館」に展示できないか。

答 地元と協議して、設置を検討したい。

問 東部観光拠点開館に向けて

問 護者や地域にも周知し、社会全体での啓発につなげていきたい。

問 第2次スポーツ推進計画では、全てのスポーツが推進の対象なのか。

答 世界遺産登録の景観面の問題から、小学校跡地への整備は断念した。財政面から、新しい施設の整備は難しいが、既存の球場を充実させるなどの方法を検討していく。

問 ※2パブリックコメントで、多かった意見は。

答 野球場整備に関する意見が圧倒的に多かった。意見が圧倒的に多かった。意見が圧倒的に多かった。

問 体育協会加盟団体からの意見を、計画にどう反映させているのか。

答 意見をもとに庁内で十分協議をした上で、必要に応じて計画に修正を加える。

問 玄海小跡地の代替球場はどうなっているのか。

答 他市の野球場(久留米市野球場)

宗像のスポーツ推進とは

とびうおクラブ／北崎 正則

広報戦略と地域アイデンティティ

宗像志政クラブ／吉田 剛

問 本市のアイデンティティの軸は、歴史ロマンだと考える。その宗像で育った子どもたちが世界に通用するグローバル人材となり、宗像の未来へとつなげていく、そういった物語性を持たせることが大事ではないか。

答 元祖国際都市である本市は、グローバルアリーナや3大学など、グローバル人材育成のための資源を有しており、それらを生かしてグローバル人材を育成していきたいと考えている。

問 東郷駅周辺整備について

問 東郷駅は「歴史ロマン」の玄関口である。駅と平井地区は、景観も含め象徴的なものであるべきだ。周辺整備と開発、景観保全の考えは。

答 平井地区については、市の※3インフラ整備を通して民間の開発を誘導する。その中で、景観保全のために、一定の制限は設けていきたい。

問 世界遺産とまちづくりについて

問 世界遺産に関して、広報と観光によるまちづくりについて質問する。

問 沖ノ島が観光できないことについて市内外に宣言すべきでは。

答 沖ノ島に渡れないことや、沖ノ島の持つ本質的な価値について今以上に周知を図りたい。

問 沖ノ島が女人禁制であることを正しく伝えるべきでは。

答 女人禁制が男女差別によるものではないことを多くの方に理解していただき、将来へ引き継ぎ守り伝えていく。

問 沖ノ島の価値を感じ

答 現在、海の道むなかた館が沖ノ島のガイドンス施設としての機能を担っているが、世界遺産に登録されれば、県・福津市と連携し、世界遺産の活用につながるガイドンス施設の整備充実を図っていきたい。

問 宗像大社辺津宮拝殿

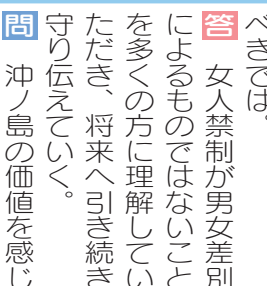
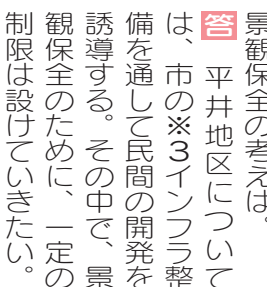
答 宗像大社辺津宮拝殿



黒田藩お茶屋イメージ



他市の野球場(久留米市野球場)



土砂災害対策・通学路の安全を

宗像志政クラブ／井上 正文

問 土砂災害警戒区域の周知方法は。

答 防災マップの全戸配布、県による指定予定区域の住民説明会、防災ホームページでの公開など。

問 一次避難所としての自治公民館の安全対策を。

答 本年度、避難所全体を見直し、対策工事などの方法を検討する。

問 釣川堤防、赤間・石丸線改良区間の延長を。

答 延長には、関係者の同意や警察協議が必要で一定の時間を要する。

沖ノ島世界遺産の真価は

問 沖ノ島の具体的保全方策と海底の調査は。

答 昨年策定した保存管理計画に沿って保全する。海底調査の予定はない。

問 登録名の変更はあるのか。

答 登録選考にふさわしい名称を、最終的には世界遺産推進会議の了承を得て決定する。イコモスの勧告などで名称の変更を命じられることもある。



沖ノ島

入札改革で事務効率の改善を

公明党／石松 和敏

問 保守点検など年間を通じて継続的に行われている業務は複数年契約がふさわしく一部実施しているが拡大すべきでは。

答 現在行っている単年度契約のうち、内容を十分精査して長期継続契約が可能なものは切り替えていきたい。

問 一般競争入札の場合、資格審査を入札後に第一位落札候補者に限って行えば、発注事務を簡素化・迅速化でき、事務軽減になるため移行すべきでは。

答 今後事後審査導入に向けて早速検討に入る。



優良建設工事表彰

宗像ならではの子育て支援を

宗像志政クラブ／小島 輝枝

11月に開催される「子育て支援応援フェアin宗像」について問う。

問 開催目的と効果は。

答 子育てに関するさまざまな情報が得られるよう、イベントを通して子育て家族同士の交流機会の創出を行う。

問 フェアの主催者は。

答 子育て応援フェアin宗像実行委員会

問 子どもまつりとの違いは。

答 子どもまつりに参加する子どもたちよりも小さなお子さんを対象にし、親子で一緒に楽しめるよう計画している。



学力テストの現状と課題を問う

日本共産党／新留 久味子

小中学校では全国・県市の学力テストを実施。学校では、テスト前に類似問題が繰り返し行われている現状がある。

問 こうした現状を把握しているか。

答 詳細は把握していない。

問 全国学力テスト結果公表についての考えは。

答 各校が中学校区ごとに、地域の実情に応じた方法で結果公表の準備を行っているため、市としては市全体の結果は公表するが、学校ごとの結果を公表する考えはない。



地域限定の補充学級 予算を一般施策で活用を

特定地域で行っていた補充学級は24年度に廃止された。今後、この予算を地域で行っている寺子屋事業に活用できないか。

問 すでに一般の教育予算として執行している。今後地域・家庭の教育力が発揮できる取り組みへの積極的な支援を行う。

総合スポーツセンター建設は見直しを

日本共産党／末吉 孝

問 既存3体育館で不足している機能は何か。

答 スポーツ観戦の機能が不足している。

問 公共施設アセットマネジメントの基本的な考え方は。

答 公共施設の総量圧縮を前提とし、統廃合、更新、維持管理、長寿命化等の適正化である。

問 市庁舎よりも後に建設された市民体育館を廃止するとした理由は。

答 今後のスポーツ需要を見たときに、現行施設の機能充実が必要と考えており、いつかの時点で、施設の更新も必要であると考えている。

問 3体育館廃止方針について、スポーツ団体の



市民の声を市政に活かすために

ふくおか市民政治ネットワーク／杉下 啓恵

問 ※2パブリックコメントや説明会など市民参画手続きの実施状況と課題は。

答 市の計画や条例の策定、制度導入などの際に、さまざまな市民参画の機会を設定しているが、市民の参加や意見などが得られないものもある。

問 市民同士の対話で議論が深まるよう運用上の配慮が必要では。

答 市民対行政の構図にならないように、複数の手続き手法を組み合わせるなど工夫していく。



農業振興計画の実績と課題は

宗像志政クラブ／花田 鷹人

問 26年度に最終年を迎える農業振興計画の成果と課題、およびその検証方法は。

答 検証方法の検討はこれから行う。次期計画を策定する際に実施するアンケート調査、関係者のヒアリングなどの結果をふまえ、成果と課題の整理をする。

問 次期振興計画での重点項目は。

答 農地の集積による経営規模の拡大、新規就農者の育成、水産物や観光などとの連携による6次産業化の支援など。

問 振興計画の進捗管理



はどのように行っているのか。

答 事業の計画、実施評価、見直しによる振興計画の推進、また産業振興戦略プロジェクト会議で他業種と連携し、振興計画との整合性を図る中で進捗管理を行う。

その他の質問

問 宗像志政クラブ／花田 鷹人

実情に合った通学区の変更を

日本共産党／植木 隆信

問 くりえいと3丁目の児童は河東小学校に通っているが、赤間西小学校の方が近い。通学区の学校選択を柔軟にできないか。

答 くりえいと3丁目の学校選択制は現在考えていないが、今後地域の意見を聞いていく。

沖ノ島などの世界遺産登録活動について

問 登録活動は、いつまで続けるのか。

答 暫定リストに記載されており、登録の可能性が十分あるので、長崎に

27年以降の市の予算編成について

市民連合／福田 昭彦

問 26年度予算は過去最大規模で年々増加の一途だが、市の収入はほぼ変わらず、予算の不足分は市の貯金を取り崩して埋め合っている。今後の

答 26年度予算は過去最大規模で年々増加の一途だが、市の収入はほぼ変わらず、予算の不足分は市の貯金を取り崩して埋め合っている。今後の



問 最終処理場南側農地への汚水被害の対応策は。

答 下水道施設の長寿命

問 特定地域で行っていた補充学級は24年度に廃止された。今後、この予算を地域で行っている寺子屋事業に活用できないか。

答 すでに一般の教育予算として執行している。今後地域・家庭の教育力が発揮できる取り組みへの積極的な支援を行う。

問 意見聴取はしていないが、スポーツ振興計画に対する関係団体からの意見などはなかったのか。

答 意見聴取はしていないが、スポーツ振興計画に対する関係団体からの意見などはなかったのか。

●●● 提出議案と議決結果 ●●●

9月定例会で審議し、全員賛成で可決、承認、認定した議案のうち、主な議案を紹介します。すべての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

【全員賛成で可決した主な議案と内容】

議案	内 容
玄界環境組合規約の変更	玄界環境組合の分賦金（負担金）の均等割に係る経過措置の終期を定めることに伴い、玄界環境組合規約を変更する。
宗像市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正	原町地区の都市計画の決定および荒開地区の都市計画の変更に伴い、条例の一部を改正する。
宗像市大規模太陽光発電設備設置促進条例の一部改正	良好な景観の維持および森林の保全を図る必要性が生じていることから、大規模太陽光発電設備の設置奨励措置の対象者を制限するため、条例の一部を改正する。
辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更	地島（辺地）地区の離島体験交流施設などの整備計画の変更に伴い、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政計画を変更する。

【賛否が分かれた議案名と議決結果（○：賛成した人 ◆：反対した人）】

議案名	議員氏名 議決結果	井上正文	吉田剛	森田卓也	高原由香	安部芳英	岡本陽子	北崎正則	伊達正信	杉下啓恵	神谷建一	花田鷹人	福田昭彦	小島輝枝	新留久味子	石松和敏	小田英俊	植木隆信	末吉孝
宗像市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
宗像市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
宗像市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
平成25年度宗像市一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
平成25年度宗像市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
平成25年度宗像市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
平成25年度宗像市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
平成25年度宗像市下水道事業会計決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
「農業・農協改革」に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○
「農業・農協改革」に関する意見書の提出	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○

* 吉田益美議長は、議員として議決に加わる権利を有しません。

意見書

3件の意見書案を可決し、関係機関に提出しました。

国へ提出

←

産後ケア体制の支援強化を求める意見書
【全員賛成で可決】

〈要旨〉
良好な母子関係の形成、虐待や育児放棄の予防のために、出産直後の母親への精神的・身体的サポートは欠かせない。少子化対策を進める上でも産後ケア

危険ドラッグ（※）の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書
【全員賛成で可決】

〈要旨〉
危険ドラッグの使用が原因とみられる重大な交通事故が度々報道されるなど、深刻な社会問題となっている。インターネットを含む国内外の販売・流通の実態調査や取締体制の充実、危険ドラッグの危険性の周知、相談・治療体制の整備など、国において危険ドラッグ

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書
【全員賛成で可決】

〈要旨〉
ウイルス性肝炎、特にB型・C型肝炎患者が全国に350万人以上いると言われている。国の法的責任が認められ肝炎対策基本法などに基づく一部の医療費助成が行われているが、肝硬変・肝がん患者の医療費助成は対象外である。国において、肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成を含む生活支援について具体的措置を講じることを求める。

委員会レポート

行政が行う事務事業を監視し、予算執行を決定するのは、議会の重要な役割の一つです。初めての試みとして3つの常任委員会ではテーマを決め、事業評価を行います。12月定例会で結果を報告する予定です。

12月定例会の日程

（予定）

日程	内容
11/28 金	本会議（一般質問、提案理由の説明）
12/2 火	本会議（一般質問）
3 水	本会議（一般質問）
4 木	本会議（一般質問、大綱質疑）
5 金	本会議（予備日）
8 月	総務常任委員会
9 火	社会常任委員会
10 水	建設産業常任委員会
11 木	予算第1特別委員会
12 金	予算第2特別委員会
15 月	委員会予備日
19 金	本会議（委員会報告、質疑、討論、採決）

委員会日程

（予定）

一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載し、市役所でも配布します。

▼ 予算第1特別委員会は一般会計を、予算第2特別委員会は特別会計と企業会計を審査します。

▼ 本会議と委員会は、市内の公共施設や市ホームページで中継しています。

！ 12月定例会の見どころ

ここに注目

12月定例会は、11月に行われる常任委員会、議会運営委員会委員の再編後、初の議会です。

市議会に関する問い合わせは
議会事務局 Tel 0940(36)1119

市議会のくわしい情報はホームページをご覧ください。

宗像市議会 検索

編集後記

「市民が見たくなる議会報」の編集を目標の一つとして取り組んだ議会広報調査特別委員会は、この9月定例会号の編集を最後に発展的に解散した。

本委員会では、情報端末を議会に導入、活用することにより、議会運営の効率化、活性化を図り、委員全員で大きな成果を上げることができた。（福田昭彦）

議会広報調査特別委員会
が調査を終了

本委員会は、議会の情報をより分かりやすく、見やすく発信することを目指し、平成25年3月に設置され、33回の会議を重ねてきました。

議会報の紙面や議会ホームページの見直し、タブレット端末など情報端末の活用を検討しました。議会報の編集は議会広報編集部が引き継ぎ、今後の情報端末の活用については、議会として検討を続けていきます。